仙北市立神代中学校
学校報
令和3年
12月　　20日 発行

清水

冬至

１２月
２２日頃

冬至（とうじ）

冬至とは、北半球において日の出から日の入りまでの時間がもっとも短い（＝夜が長い）日のことです。。

一年A組で数学授業研究
真剣に向かう一年生

十七日に一年A組で数学の研究授業がありました。授業の単元は、「平面図形」です。神代中学校の数学科の研究主題は、「基礎・基本を身に付け、自分の考えを数学的に表現できる生徒の育成」です。今回の「平面図形」の単元は、十六時間の計画で進められています。この日は、その十二時間目でした。

最初に出された問題は「**2つのピザは、どちらが大きいのだろうか？**」※出された2つのピザは大きさが違いました。

生徒達は、この答えを求めるために必要な情報を確認し、自分の考えを発表し合いながら、「おうぎ形の面積はどのようにして求めるのだろうか？」と課題を設定しました。

さて、数学の授業では、「問題」と「課題」が出てきます。その違いについて簡単に説明します。

「問題」は、この日の授業で「**解決すべきもの**」です。しかし、授業で提示されたピザは中心角や半径が違うため、見ただけでは、どちらが大きいか分かりません。問題を解決するためには、おうぎ形のピザの面積が分からなければ解けません。そのため、生徒は、まず最初にやることを考えます。それが「課題」になります。

秋田県では、このような問題解決型の授業を進めています。神代中学校では、**赤棒**で囲っているのが、「問題・課題・めあて」になります。（※教科によって多少呼び方が違います。）そして、**青棒**で囲っているのが、その「答えやまとめ」になります。

この**赤棒**と**青棒**を使う授業形態は、神代小・中学校で連携して行っています。小学校から入学してきた生徒が、中学校の授業の流れに戸惑うことが無いよう配慮しています。生徒は、日々の授業を、今回の研究授業のように受けています。

また、生徒達が毎日取り組む一人勉強ノートは、学級担任や学年部だけで無く、多くの職員で見るようにしています。

お互いに意見交換

グループで課題に挑戦